

有宵会だより

第105号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

六月・七月の運勢

気学では午の六月

六月五日（芒種）節入り

天道

9	5	7
8	1	3
4	6	2

ア破

生氣

気学では未の七月

七月七日（小寒）節入り

生氣

8	4	6
7	9	2
3	5	1

破

天道



「なぜか五十年前」

昭和三十年代は、剣豪

小説のブームと言われ、

作家の中でも五味康祐さ

んは、芥川賞作品『喪神』

や『柳生武芸帳』で時の

人でした。五味氏は手相・

観相などを余技とし、人

相の本を出すなどし、独

特の毒舌が、特に女性に

評判であった。

なんと五十年前も前の昔を

思い出していたところ、

俳優の田村正和さんの惜

しまれる訃報を耳にしま

した。72年にフジテレビ

系列で放映された連続時

代劇、『眠狂四郎』での、

ニヒルな姿が鮮明によみ

がえります。記憶という

大脳の映像に感服です。

ここから想うのは、作者

の柴田錬三郎さんのこと

でした。同じ頃、日本テ

レビ番組の『クイズ ほ

んものは誰だ?!』に縁が

あって出演したこと。鈴

木さんの本を書いた著者

が主役でしたが、柴田錬

三郎さんが姓名判断の私

を、「本物」と選んでく

れたのも五十年前です。

一白水星の人の運勢

六月筮―離為火の六五

七月筮―水風井の九五

六月は用事多く、ざわ

めく。金策と書類の提出

に気を配る。厄介な問題

に手を出さず家庭は安心。

仕事は漸進ながら成果あ

り。視力疲れと歯の手入

れ。

七月は活気あり。前半

準備と後半仕上げで無事。

情深く頼られるが手を貸

して良し。仕事は意外な

曲折あれども体調維持

二黒土星の人の運勢

六月筮―火雷噬嗑の六三

七月筮―火山旅の九四

六月は変化あり吉凶半々

なので慎重に。家風は習

慣を重んじ調子を合わせ

るのが賢い。出費多いが

儲け話は怖い。意地張る

と仕事と体調心労多し。

七月は平穏運。無理を

せず楽にいく。用事は一

回で済ませる。仕事平凡

家庭奉仕。公私は予定通

り実行することで安全。

三碧木星の人の運勢

六月筮―水雷屯の六四

七月筮―地天泰の九二

六月は日常生活に気遣

いし何事も安全にいく。

自分のペースで処理。目

下や子供に「口が悪い」

と叱られる。足腰の疲れ

ご用心。気持ちは大きく

寛大に。

七月は強気に出るより

柔軟に、誤解を避ける。

新仕事中旬に着手。金銭

は無駄が出るので堅実、

整理と仕上げで気分転換。

四緑木星の人の運勢

六月筮―天風姤の九四

七月筮―水地比の六四

六月は忙しい。責任の

重さで進める。仕事多く

停滞気味。家族に喜び事

あり。苦手意識に負けず

胸襟開く。金談吉。物事

は臨機応変で下旬良好。

七月。出る杭は打たれ

る。謙虚さを貫くと好評。

難問に解決案あり無事。

交際には人の後に付く。体

調は心臓と気管支用心。

五黄土星の人の運勢

六月筮―沢天夬の初九

七月筮―艮為山の六二

六月は上昇機運に乗せ

る。公私に要領よく処理

する心がけ。急進すると

ミスが出る。勘弁えて創

作意欲や企画構想など名

誉得る。慢性病に用心。

七月は悠々と過ごした

い。前月の持ち越し分に

追われる。外部の頼まれ

事や家庭雑用多い。心労

あるが爽やかで下旬に落

ち着く。

六白金星の人の運勢

六月筮―天地否の六五

七月筮―水地比の初六

六月は自重しながら出

番を待つ。中旬に自分の

ペースで安心。困ったと

きは助けあり。仕事は変

わらず中立でいく。二重

払い忘れ物、過労に対処。

七月は徐々に充実気配。

油断をしないで何事にも

目を通す。仕事は腕が鳴

り楽しみ。余分な出費多

いので締める。胃腸休養。

七赤金星の人の運勢

六月筮―水沢節の六四

七月筮―震為雷の初九

六月は頭を出さず、様

子を見て動く。仕事は我

慢比べで待つ。大事断り

小事の履行。家庭は対話

が葉。仕事は焦らず現状

維持。視力と期間に優し

く。

七月は活気が出て意欲
湧く。新規開拓。見聞良
し。女子力がたくましく
見事。古習がらみは足を
取られる金運守る。循環
器対処。

八白土星の人の運勢

六月筮―風火家人の六二

七月筮―沢天夬の九三

六月は何かと用事に追

われる。安定が増し自信

付く。仕事は背伸びをし

ない。注文や依頼事で内

容を変更せず。小事の希

望叶うが足腰を大事に。

七月は元気が出るが油

断も出る。外出慎重に欲

張らない。在宅仕事で充

実効果が高い。日頃の努

力を忘れずに。体調維持。

九紫火星の人の運勢

六月筮―風火家人の上九

七月筮―火雷噬嗑の六三

六月は確実に運を掴む

ので順調。成果を目指し

てみる。上旬の気遣い多

く下旬に朗報ありそう。

必要な金を惜しまず人脈

を大事に。食生活に留意。

七月は状況を甘く見な

いで自重。仕事協力下旬

に伸びる。家庭の和みで

幸せ感。無事に過ごすこ

とが良いものなり。

三月有宵会報告

手塚 唯次

三月二十七日（土）勤労福祉会館（綾瀬プルミエ）第一ホールにて、NPO法人岳易館・有宵会定期例会を開催されました。第一部は、検見川神社祭儀部長であります、水谷智賢先生から、禊とお祓い、人間の一生についてのお話等がありました。第二部は、福田有宵先生から、コロナの現状、にっぽん奇行・奇才逸話辞典のお話、方位のご相談のお話がありました。



―第一部―

今回の講師は、昨年十一月に引き続き、検見川神社の祭儀部長であります水谷智賢先生のお話となりました。

本日は禊とお祓いのお話、さらに人間の一生についてのお話となります。また、神社には二通りあります。まして、天津神と国津

神の二種類があります。天津神は天から降ってきた神様であり、国津神は国を造った神様となります。天津神は皇室関係の神様、大國の尊は天津神の神様なのですが、国を造ったということとで、国津神の分野に入ります。また、明治神宮、熱田神宮とか神宮と名の付く神社は天皇を祀っています。さらに日本の神様の総元締めである本宗である伊勢の神宮をお祭りするものとなります。天照大御神様であり、豊受の大神様様でもある訳であったこととなります。正式名称は神宮であり、伊勢の神宮というものが正しい言い方となります。伊勢神宮とか熱田神宮は官幣大社という別格となります。神職の仕事で、お祭りをすることが仕事となります。天皇が変わるなどの祭典を厳粛に行っているもので、年間二百くらい行っています。また、土地の神様である国津神は皆様方の御祈願などであり、官幣社は国家安泰、世界平和などを願う、国幣であるお宮さんは個人のお願いをしても大丈夫です。私が居ました寒川神社も

また、検見川神社も皆様の御祈願をお願いすることになります。易占をなさる皆様と神職の仕事は共通するのではないかと思えます。鑑定に来られるお客様であり、参拝に来られたお客様の希望を聞いて成功する方向へのお手伝いをする。また、お世話する仕事となるということでお話しています。現在は情報過多の時代であり、また易占もインターネットで情報は取れますが、正しい導き方が出来ないの、的確なアドバイスが出る皆様の出番となる訳です。また、今の若い方は長文を読むことが苦手であり、あまり長いと伝わらないところもあるのですが、参拝者の意見を祝詞によりお伝えすることが重要となります。神様へのお手伝いをするのがお役目となっていくこととなります。宗教とはなんであるか。死の恐怖の払拭であり、その道筋をつけるのが宗教となる訳です。宗教により心の平安が得られ、心の国家安泰につながるのととなります。しかし、世界平和までにはなかなかありませんが、心の平安

のため悩みを解決するお手伝いをするのが皆様の仕事となるわけです。中には命がなくなるなど、恐怖心を抱かせる易者なども存在しているのも事実です。



それでは、資料に戻りまして、神とは何ぞや、日本は言霊ということもありカミの力（火）、ミ（水）に分けられ、神棚のロウソクであり水でもあります。また紙でも白のホワイトでもあり、ホワイトから純真無垢な心でもある訳です。私たち神職は資格を取ると初めに白い袴を穿きます。白から始まって白で終わることになります。何も考えない純真無垢な心は、空（くう）の世界でもあり、ピュアでクリアな感性を持つて生活することが重要となります。先ほど佐藤宗眩先生とお話したのですが、易を立てるときはどのような気持ちでなさるのですかと

お聞きしたのですが、空（くう）な無我の境地で行うとおっしゃっていました。私も生活に風水を取り入れて前向きに過ごせる毎日をということで三か月にわたって生活に生かす風水の講座を行っており、気を扱うことで、気功と瞑想を行っていただきます。また、検見川神社では、祭儀関係を行っていただきます。御祈願とは他人のお願いごとを神様に伝えるというお仕事なのですが、これは自分の思い入れという感情を入れたいいけないものとなります。○禊とお祓いについて

罪と穢れですが、罪は自分で犯してしまったもの、けがれは気が枯れることです。気を使つてさらに減っていくことで最終的に亡くなってしまう。体は、けがれて亡くなってしまうのですが、魂のよりどころとなる奥津城（神様としてお祀りする）となるものです。大祓いとは六月三十日と十二月三十一日に神社において人型を川に流すのですが、祓戸大神（はら

えどのおおかみ）とは、神道において祓を司るかみであります。祓戸（祓所、祓殿）とは祓を行う場所のことで、そこに祀られる神という意味であり、以下四神の総称であります。

○瀬織津姫（せおりつひめ）もろもろの禍事・罪・穢れを川から海へ流す。

○速開都比売（はやあきつひめ）海の底で待ち構えていて諸々の禍事・罪・穢れを飲み込む。

○気吹戸主（いぶきどぬし）速開都比売命が諸々の禍事・罪・穢れを飲み込んだのを確認して根の国・底の国に息吹を放つ。

○速佐須良比売（はやさすらひめ）根の国・底の国に持ち込まれたもろもろの禍事・罪・穢れ禍事をさすらつて失う。だから罪は消えることとなります。

次に【禊ぎ祓いと三貴子（みはしらのみずのみこ）】黄泉（よみ）の国からお帰りになった伊邪那岐大神（いざなぎのおおかみ）は、「私はとても醜（みにく）く、穢（けが）れた国に行つて身をして清めなければ」

と仰せになり、筑紫つくし)の日向(ひむか)の橘(たちばな)の小門(おど)の阿波岐原(あわぎはら)においてになり、禊祓(みそぎはらい)をなさいました。また伊邪那岐大神が身につけて

ばな)の小戸(おど)のあはぎはらの二つの説があります。福岡市西区小戸の小戸大神宮、宮崎市阿波原町の江田神社の二つの候補があり二つとも鬼門の方位となります。

してしまふことになりますので、自分の先生に確認するなど慎重な対応が必要となる訳です。自分の場合も風水を勉強してきて先生から二十年は人を見てはいけないよと言

ありません。我々は自分の意思で生まれて来ないので、親や家庭環境、貧富等について、更には男性か女性かも選べずこれらについては生まれてくるまで分かりません。こ

自分の思い通りに楽しく思い描き、悔いの無い一生を過ごしたい方は、ここで生まれ変わって、自らの手で好運を呼び寄せ、快適で素晴らしい人生を送って下さい。

易学についても人を占うというものではなく、人生の王道そのものであるのでは、あてようとするのではなく、人生そのものである訳です。

また、石上神宮には御利益が強く死んだ人も生き返るといふ言い伝えもあり、そこでは禊ぎと鎮魂(魂を鎮めて揺り起こす)の行事を国宝の拝殿で夜に行います。

禊ぎとは身を削ぐと御霊を注ぐと二つあり、汚いけがれを払い落とすもの、さらに水に触れることで水の神様の御霊を頂くものです。

もうお気づきでしょうが、「先天運」は逆らえないものですが、「後天運」はすべて自分で変えられる。苦勞するもよし、いばらの道を進むもよしです。偶然性を言い訳せずに必然性に良くなるように努力してください。たった一度の人生を

左の目を洗って出てきたのが天照大御神(あまてらすおおみかみ)太陽神、高天原の統治、右の目を洗って出てきたのが月読命(つきよみのみこと)夜の統治、鼻から出てきたのが建速須佐之男命(はやすきのおのみこと)

海原の統治で三貴子(みはしらのみずのみこ)禊の最後に自身の体を清めた時に生まれた神で、三人の神様で世を治めることとなります。また、参考として伊邪那岐大神が黄泉の国から帰って禊を行った場所も鬼門の方位方角であります。黄泉の国との境の黄泉比良坂(よもつひらさか)につ

て二十年もつように蒸して干すなどして保存していました。また、風水二十年説があり二十年経つと方位が変わってくるため、伊勢の神宮も遷宮により位置が変わると良い方位となるということもあります。神宮を建てた人も風水のことは知っていたということになります。

伊勢の神宮が二十年式典遷宮というものがありません。遷宮をするのにお金などがいるので貨幣が無い時は米などでお供えして二十年もつように蒸して干すなどして保存していました。また、風水二十年説があり二十年経つと方位が変わってくるため、伊勢の神宮も遷宮により位置が変わると良い方位となるということもあります。神宮を建てた人も風水のことは知っていたということになります。

易が好きで勉強している人はいますが、そんな人は、いないかもしれせん。私は凝り性のところがありますので。気学については皆さんから教わるということがいろいろな機会であると思いますので今後ともよろしく願います。

【佐藤宗弦先生からの質問】
神職さんは、皆さん易とか占いの勉強はされているのでしょうか。
【水谷先生のご回答】
易が好きで勉強している人はいますが、そんな人は、いないかもしれせん。私は凝り性のところがありますので。気学については皆さんから教わるということがいろいろな機会であると思いますので今後ともよろしく願います。

【第二部】



○風水の極意

霊感を持っていないくても、気の流れ、世の中のしくみを感じ取ることができ

ます。

○人間の一生(人生)まず私達は、生まれることによって人生のスタートラインに立ちます。しかしこのスタートラインは決して皆様に平等では

ありません。我々は自分の意思で生まれて来ないので、親や家庭環境、貧富等について、更には男性か女性かも選べずこれらについては生まれてくるまで分かりません。こ

易学についても人を占うというものではなく、人生の王道そのものであるのでは、あてようとするのではなく、人生そのものである訳です。

また、石上神宮には御利益が強く死んだ人も生き返るといふ言い伝えもあり、そこでは禊ぎと鎮魂(魂を鎮めて揺り起こす)の行事を国宝の拝殿で夜に行います。

禊ぎとは身を削ぐと御霊を注ぐと二つあり、汚いけがれを払い落とすもの、さらに水に触れることで水の神様の御霊を頂くものです。

福田有宵先生の「講話です。」



桜も満開で既に葉桜になっているところもあります。

本日、コロナの緊急事態宣言は解除されたとは云え、まだまだ不便を被っている状態であります。また、海外でも昨年からの二月くらいから出ておりました。ただ国の上の方もあまり詳しい情報が出さないという傾向にあります。

○コロナは今後もどうなるか、続くのかという

風水換 上九

この風水換というものは、海外から来るものは水に流すという意味もあり、水の上を走る船であり、海外から運ばれてきた坎のウイルスとする訳です。イギリス型など大騒ぎせずに都心まで浸み込んでいない状況にもあります。漸増とゆっくり増えていくので爆発的な

ものはなくても、いつになつたら收拾がつくのかことです。内卦は坎で冬にあたり、外卦の巽は春から初夏ということですが、三波四波が来るという

ことで本当に収まるのかということですが、六月は小康状態が続くと思われませんが、一年を通して、上九でもあり、卦極とも言われ、季節の終わりと読み解く訳です。之卦ですと伏しているのは、坎為水であるため、また冬を超えるのではないかとはいへる出せるため、答えが決まらなくなってしまうということになります。また、ワクチンの供給の話も国民の安心材料ともなります。次に菅原先生が年筮を出された記事ですが、一月にお話について時間をおいて三月に見るということがとても重要なことが分かります。一月に感じたものの、三月に感じたものと違うことから、直ぐに答えを出さずに熟すること、再度答えを客観的に見直すようにも私もしております。次に水谷先生のプリントはとても分かりやすく、

例えば御霊は霊ですが、神ということから離の九紫作用も持つということ、坎の一白も併せて持つことになります。二つが霊体を表します。

また五行の中で水の作法、火の作法があり、お祓いの中で出てきますが、坎と離が生み出すことを覚えておいてください。神道もお祀りが必ずあり、神事とも言いますが、お祀りのことを是非研究して頂きたいと思えます。次に方位の方罪をおかしてしまった場合に、続けて悪い方位に行ってしまうということがあります。大阪、東京、名古屋と五黄殺と暗剣殺と続けて悪い方位に行ってしまう、なかなか吉方を選べない状況になる訳です。身内の方から、そのようなご相談があり、十年が過ぎても、仕事などの問題は別に、病気にはならずにご過すことができたようです。このように、凶方位に行かざるを得ない場合に三回の吉方位を取るなどしましたが、なかなか結果を見てみないと分からないということです。また、会社のこ

とであるとはいえ、何度も繰り返されてしまうこと、お祓いは効くのか、信じるのが大切であると水谷先生はお話していました。実は悪い方位に行つたが、良い結果が出た場合など、今後の研究課題となりますので、いろいろと出して頂きたいと思えます。また、易の中庸のことについて書かれていきますので、次の機会に、ご質問して頂いて、中庸で良い場合と意味もない場合もある訳です。

○にっぽん奇行・奇才逸話辞典

この本の中に百人弱のエピソードが載せられているのですが、北村サヨさんという、踊る宗教の教祖として有名になった人です。明治三四年から昭和四三年まで生きて、かなり多くの有名な人も入信したようです。農村の一主婦として過酷な生活を送っていたが、四十歳の時、腹に神が入り、わかるの良さなどから多くの信者を獲得しています。あと、小説家の深沢七郎さんが北村サヨさんのところに会いに行った

時に、手相の話になり、北村サヨさんが「私の手相は一人に一人の手相です」と言っていて、深沢さんも手相に心得があり、「普通の人とかわからないですよ」というと彼女は「それを平凡の中の非凡というのですよ」と答えました。上に立つ人は例えば批判された時でも、その人特有の答えというものがあります。そのぐらゐの見識を持つて

いるということ。このようにいろいろなタイプの人の人に占いとしてどのようなアドバイスができるか、相手の手の内が読めない時に、いろいろと読んでみて、参考になるのは何だろうかとお見えます。次に、昨日朝方までラジオを聞いていたのですが、リスナーの投書があったのですが、夫とのか年の年齢差があり、普通の芸能人ですと十歳、二十歳とはありますが、この方の場合、四十三歳の差ということで、父親よりもちょっと上ですと、また、そのあとが良く、喧嘩をしない。(夫は亡くなっております) 幸せでし

たとこのように年齢を度外視した場合にも縁がある場合もあります。家族状況の中で次男次女型は、長男長女と違い、個性のある人を選ぶ、また父親母親と違うタイプの人を選ぶというように、どういう家族構成を知っておくことも参考になる訳です。また、あまり型にはまって考えるのも良くないということもあります。

また、同性婚のジェンダーということで、男性同士、女性同士の相性をどのように見ていったら良いか。うまくいくのかどうか。その他にも別姓の問題、結婚しても同じ苗字としないことも多くあり、姓名学の観点からは、それぞれの姓名判断により分析して違いを出す方法もあります。結婚前と結婚後で姓が変わること、どのように判断するのか。特に女性の場合は、実家で付けた名前と結婚後の二つの名前がありますので、複雑である訳です。いろいろと課題が出てきます。

○方位のご相談について

先ほど、方位のご相談を受けましたので、実例として皆さんと検討してみよう。

主人 六白（年盤）、九紫（月盤） 配偶者 五黄（年盤）、二黒（月盤）

年支、月支、十二支は省略致します。住まいの背景があり、生活上の条件もあります。住居の場合、学校、病院など公的な施設があるところを希望する場合があります。相談者の年齢、立場とか方位の中に影響を及ぼすものがあります。立場と方位をどのように結び付けて行けば良いか。また、その人により、幸せの定義が異なることから、どのような答えが出るべきかということ。今年六白中宮となり、変化を求める年となります。つまり、昨年、一昨年前からの変化の気持ちがあり、中宮の時に今まで良いと思っけても嫌になっってしまう心の動きが出てきます。また、相談者から事情を聞かないで答えるということも学びであります。中宮に至るまで

の経過があり中宮で整理、再生、清算するところでもあり、前からあるものを中宮で結論を出すところでもあります。今までの順序を追っているため危ない橋は渡らないと思います。五黄の人はどうかと言うと、六白の人の方が意思を持っています。また南の二白については、相生でもあり定位対沖でもあります。定位対沖はまちまちで十分な研究がされていないため、ご自分で調べて分からないところを聞くということもとても大事なことであります。

また、昔はどのような方罪があっても東南の方向に行くという説があり、若い時はそれで良いのですが、年をとれば、西とか西北をとる必要があります。昔の気学の古典派の人達は、南と東北の方位をとる時には気をつけなさいと昔の師匠さんは言ったものです。その人に合う方位が大切となり、三年位で成功、失敗の答えが出てきます。また、六白、五黄ですと二黒がとれます。月命殺もあります。西

の八白もとれます。八白ですから、家をつくる、財産、子供をつくるに良い方位です。人生の訂正変更などの要素が方位の中にあります。皆さんも一日かけて吉方取りをされてどれだけの十分な答えが出るかということも研究材料となります。

三月は年度がわりとなりますので、今後は水子の問題など、どうしても良いか。陰陽道の霊符のまじないの話などテーマをもつて進めていきたいと思ひます。ありがとうございます。

いつも福田先生には貴重なお話しありがとうございます。また今回は水谷先生から滅多に聞けない裏のお話し他ありがとうございます。感謝申し上げます。手塚 唯次

「西宮門戸厄神」

大川法祥先生

（大阪・堺）

MBSTVテレビの情報番組を見ていると、「厄除け参り」のことを語り出しました。急いでメモの用意を……。『西宮門戸厄神』の境内が広がりゆく映像。「厄神」とありますが、神社ではなく、

お寺です。



八二九年、嵯峨天皇が四十二歳の厄除けを空海にお願いした折に建立した寺院だそうです。

本山は高野山。正式名「門戸厄神東光寺」。ご本尊は愛染明王と不動明王、二面のお顔と六本の腕に、それぞれ法具をお持ちになる秘仏です。

四十二段の男坂、三十三段の女坂を左右両面から登った中央に本堂、その前に金色の「ギボシ」が鎮座。お礼参りには、お受けした純金箔をギボシに貼り付けます。

「厄」とは「役目」が廻ってくるということ。いろいろ人生の体験を積み重ね、役年に花開くという意味でもあるのです。

江戸時代では、四十二歳は働き盛り。町の役目を果たす責任ある役にステップアップすると言わ

れていました。女性は十三歳、嫁から一家の主婦としての責任ある立場になります（佐渡では「しゃもじ渡し」との風習がある）。

ドイツ、米国など、諸外国からも厄除けのお参りに来られるとは驚きです。

で 婦人公論二月号を読ん

大川法祥先生

（大阪・堺）

『可能性は無限大！脳年齢を若返らせて「まことの花」を咲かせよう』とのタイトルで、脳科学者、茂木健一郎氏の対談を、脳の活性化を望みながら読みました。

認知科学では「望ましい困難」と呼び、困難によつて才能が開花することが多くあるそうです。

雑談を侮るなかれ、雑談は猿の毛づくろい行動から発達したものと云われていて、人間同士の絆を深める重要な手段。人工知能が未だに再現できない、最も高度な脳の能力と言われています。雑

談は、あらかじめ話の準備ができておらず、脳に蓄えられた記憶やボキャ

ブラリーを臨機応変に取り出し、組み立てなければなりません。瞬発力や創造性が問われるそうです。

「時分の花とまことの花」の話を、能の宗家から伺ったことがあります。若い生命が咲き誇る「時分の花」に対し、自分という一人の人間だけが持つ本質的な「真の花」は、いくつになっても花開く可能性を秘めています。

岩槻大師の上村住職が正力松太郎賞を受賞



新年鑑定会などで有宵会とご縁が深い、岩槻大師彌勒密寺（埼玉県さいたま市岩槻区）の住職・上村正剛さんが、第45回正力松太郎賞（財団法人全国青少年教化協議会主催・読売新聞など後援）を受賞しました。この賞は仏教精神に基づき、青少年・幼児の健全な育成に貢献した個人・団体に

与えられる賞です。上村住職は長年に渡り、命の尊さを自身が発行する月刊冊子で説いたり、小中学生が寺に宿泊する取り組みを続けたりするなどし、評価されました。冊子は4月で500号を迎え、幅広い層に読まれています。

政治の四患

政治について古来から言われている四患

一四つの病弊がある

第一は偽である。

うそ、偽りは小事では直ぐわかるが、社会、公共の事になると段々真偽が紛らわしくなる。

第二は私である。

昔は政界に出ることは私産を失うのが常識であった。今は自分の為に、公を假ることが平気である。

第三は放である。

無軌道、放埒、無礼、無責任等である。礼儀も道徳も、秩序も法律も無視して、自由と権利の下、勝手放題にやって省みない。

第四は奢である。

放と同じく一度味をしめると、容易に節儉の生活に戻れない。文明は生活の利便を高めたが、そ

れと共に恐ろしく奢侈にした。この四患を救わねば治まるものではないが、これも巧みに操って政権の打倒を計るのが左翼勢力だ。

思考の三原則

私は物事を、特に難しい問題を考えるときには、いつも三つの原則に依るように努めている。

第一は、目先に捉われないで、出来るだけ長い目で見る事。

第二は物事の一面に捉われないで、多面的に出来得れば全面的に見る事。

第三に何事によらず枝葉末節に捉われず、根本的に考える。

目先だけで見たり、一面的に考えたり、枝葉末節からだけ見ると、長期的、多面的、根本的に考えるとこのものでは大変な違いがある。物事によつては、その結論が全く正反対という事になる事が少なくない。

我々は難しい問題にぶつかるとこの心掛けを忘れてはならない。

忘却の黒いページ

一人人間に忘れるという事のあるのは、いかに

も困ったことでもあるが、また実に有難いこともある。

「忘却は黒いページで、この上に記憶はその輝く文字を記して、そして読み易くする。もしそれ悉く光明であつたら、何にも読めはしない」とカール・ヤークトは上手い事を言っている。

我々の人生を輝く文字で記すためには確かに忘却の黒いページを作るが良い。如何に忘れるか、何を忘れるかの修養は非常に好ましいものである。

元気

われわれは「気」を養うという事が、一番根本の大事だ。いわば生のエネルギーを養うという事、言い換えれば「元気」ということが一番である。元気がないというのは問題にならぬ。しよぼしよぼして、一向に反応がないなんていうのは、論ずる価値がない。とかく人間は有形無形を論ぜず、元気というものが無ければならない。元気というものは、つまり生気である。生のエネルギー、生き生きしておるという事である。

【NPO通信】

次のかたがたより、有宵会活動賛助のご寄付を賜りました。皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。＊令和三年四月十七日現在
(敬称略・順不同)

神易館鑑定士有志一同
マダムベアラ・モンテ
岩崎京泉 阿部治
天川鼓悠 泰山林翰
山下千津子 卯月亨

【事務局だより】

■次回総会のご案内

◎日時／令和三年七月二十四日(土)
午後一時十五分～五時
・場所／足立区勤労福祉会館(綾瀬プルミエ)
第一ホール

第一部…有宵会総会

「令和二年度活動報告／令和三年度活動計画案の承認」

第二部…講演会

◆明王山慈恵閣
先達 鬼頭一様様

◆福田有宵先生

「姓名判断の奥義
(夫婦別姓、通称名やペネームがもたらす影響)」

＊ご講演者・内容・ご発表順は、予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

＊今後も、コロナ禍の感染拡大防止の観点より、例会およびイベントは、直前に変更・中止となる場合がございます。変更情報は、有宵会ホームページ等もご確認ください。

■令和三年三月度例会参加者
四十一名のかたがご参加されました。(懇親会は中止)

■7月は、年会費更新

有宵会の総会月から新年度となります。引き続き会員としてご継続をいただける方は、年会費のご準備をお願い致します。

◎年会費…八〇〇〇円
◎納入期限…十月末日

※継続をご希望の方で、期限までの納入が難しい方は、福田有宵先生または、事務局八川まで、事前にご相談ください。

なお、予めご相談がなく、期限後に年会費の確認が出来ない場合は、会報誌等の送付を停止させていただきます。何卒、ご了承ください。

※総会にご欠席された方には、会報誌送付時に、年会費のお振込先をご案内予定です。

その他、ご不明な点は、事務局までお問い合わせください。

事務局長 八川林加

編集後記

コロナ禍の中を皆さんお仕事頑張っていることと、思います。無理をなさなくて頑張り続けて切りましよう。こんな時だからこそ出来ることある筈です。コメントお待ちしております。

＊本掲載は前後する場
合がございます。ご了承
ください。